

## 大学連絡会議の結果

○宇都宮市創造都市研究センターは、形成する宇都宮市内私立4大学（宇都宮共和大学・作新学院大学・帝京大学宇都宮キャンパス・文星芸術大学）による大学連絡会議（2021年9月13日（月）：帝京大学宇都宮キャンパス）において、「高等教育のグランドデザイン」（中教審答申）等について協議しましたので、その概要についてお知らせします。

### 1. 大学を巡る諸情勢について

- ・かつては200万人を超えていた18歳人口が、2030年には100万人を割り、2040年には88万人になるという現実、新型コロナウイルスによる大学における教育・研究システムの変革や東京への集中化現象変化の兆し等、今日の大学を巡る諸情勢は大きく変化してきている。
- ・比例して、大学進学者数も2020年に63万人であったが、2040年には51万人と推計されている状況下において、2040年における県内の私立大学への入学者数は、2017年（3,646人）に比べ、924人減（2,722人）となることが予測されている。（「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）について」より）
- ・したがって、今後、定員割れの現象が多く現れ、特に、規模や大都市と地方間における差、教育内容等によって顕著に現れてくることが予想されることから、各高等教育機関としての特色・強み等を発揮しながら、魅力のある大学をつくるとともに、連携・統合等を視野に入れた連携・協力体制の構築に取り組んで行くことが求められている。

### 2. プラットホーム創設の意義について

- ・このような情勢下において、2017年10月に、宇都宮市内の私立4大学、宇都宮市・経済界等で構成する「プラットフォーム（宇都宮市創造都市研究センター）」を立ち上げた意義は大きい。特に、今後の大学の在り方を検討していく上で、各大学の持つ特色ある教育資源を一層発展させるとともに、教育・研究の充実を目指した連携・統合等による総合型大学の形成等を検討していく契機となる。

### 3. 連携・協力による取組事例について

- ・宇都宮市創造都市研究センターにおいて取り組んでいる連携・協力事業は、以下の通りとなっている。

#### ①大学連携講座

ICT時代に沿って、宇都宮の文化を拓くために役立つ様々なデジタルコンテンツを習得し、作品の制作方法を実践体験することによって、付加価値のあるコンテンツを利用したビジネスチャンスを活かし、地域活性化のための創造性のある産業を創出する機会とする講座（15回：夏季休暇等を利用した集中講義方式）

- ・講座名：デジタルコンテンツマネジメント論と技術経営論
- ・各大学の担当分野  
帝京大学宇都宮キャンパス＝デジタル技術  
文星芸術大学＝マンガ等芸術的資源の学修と創作

作新学院大学＝技術経営論

宇都宮共和大学＝コミュニティによる地域活性化

## ②大学を超えた共同研究プロジェクト事業

### ●創造都市研究ゼミ活動

各大学の特色を活かし、学生による斬新なアイデアにより、宇都宮市の創造都市化に資する調査・研究を行う活動（3グループ編成）

- ・宇都宮駅西口再開発構想(景観研究グループ)
- ・宇都宮市民 50 万人観光大使計画（シビックプライド研究グループ）
- ・UTSUNOMIYA VALLEY計画(起業研究グループ)

### ●アントレプレナー研究活動

創造性のある産業の創出を目的として、起業したくなる「SDGsな未来都市うつのみや」を目指し、創造都市化（地域活性化）に繋げる活動

## ③人事交流、施設・設備の共同利用の実施

各大学の有する人的・物的教育資源の有効活用することによって、連携・協力の推進を図る機運づくりとする取組み

## ◎ 今後の展開について

○宇都宮地域の創造都市としての発展を目指し、現在遂行中である大学を超えた共同研究プロジェクト事業を積極的に推進していくことを確認した。特に、これからも宇都宮地域の創造都市としての発展を目指し、この基盤となる企業を目指したアントレプレナー研究を拡充発展し、継続して研究ゼミ活動を実行していく。このために、以下のプロジェクトを推進し、研究成果として、宇都宮市の創造発展に寄与していくことを目指す。

- ・田川活性化プロジェクト 一昼は楽しく夜も明るい文化・創造都市宇都宮ー（田川地区活性化プロジェクトグループ）
- ・とちぎから社会の若きリーダーを生み出す ー学生・若者のチャレンジ応援コミュニティづくりー（アントレプレナーシップ養成プロジェクトグループ）
- ・宇都宮地域を活性化するための広告塔となるバスアプリの開発（交通系アプリ開発プロジェクトグループ）

その他、今年度、令和3年度に企画されている「大学コンソーシアムとちぎ」・「宇都宮市主催による大学生によるまちづくり提案」において、これらの成果である研究提案を予定している。

○以上の意見交換を踏まえ、今後とも、プラットフォーム（宇都宮市創造都市研究センターとして、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」等を参考として、高等教育の質の向上、18歳人口減少を踏まえた今後の高等教育の展望と大学経営のあり方等について、協議していくことを確認した。